0033221000

0033221-000

56－446

東京市乳幼児死亡統計

東京市総務局統計課・編

東京市総務局統計課

〔昭和１６〕

AFD

56
446

東京市乳幼児死亡統計

日立国会図書館

1-525

56
446

供高覧

東京市乳幼児死亡統計

東京市總務局統計課

例言

一、政府では曩に人口政策確立要綱を決定されたのであるが、その中死亡の減少方策として「當面の目標を乳幼児死亡率改善と結核の予防上に置き、一般死亡率を現在に比し二十年間に概ね三割五分低下すること」を方策としてゐる。

我が國民保健上最も憂慮すべき狀態にあるのは前述の如く、生れて一年以内に死亡する乳児死亡率が高い事と國家が屬望してゐる青壯年が結核に依つて倒れる率が高いことである。

殊に保健問題と社會問題とが交錯してゐる本市の如き大都市に於ては、如何にして結核を防遏し又乳幼児死亡を減少せしむべきかは最も緊要性を帶びた重要問題であつて、都市行政の切離し難き一部門である。

一、本小編は特に乳幼児死亡に関する資料として、昭和十四年人口動態統計と既存の若干の統計に依つて本市に於ける乳幼児死亡の狀況を概觀したものである。

本小編にして衛生施設及び乳幼児の保育等社會施設の改善普及対策の一助となるは望外の幸とするところである。

昭和十六年十月二十日

東京市總務局統計課

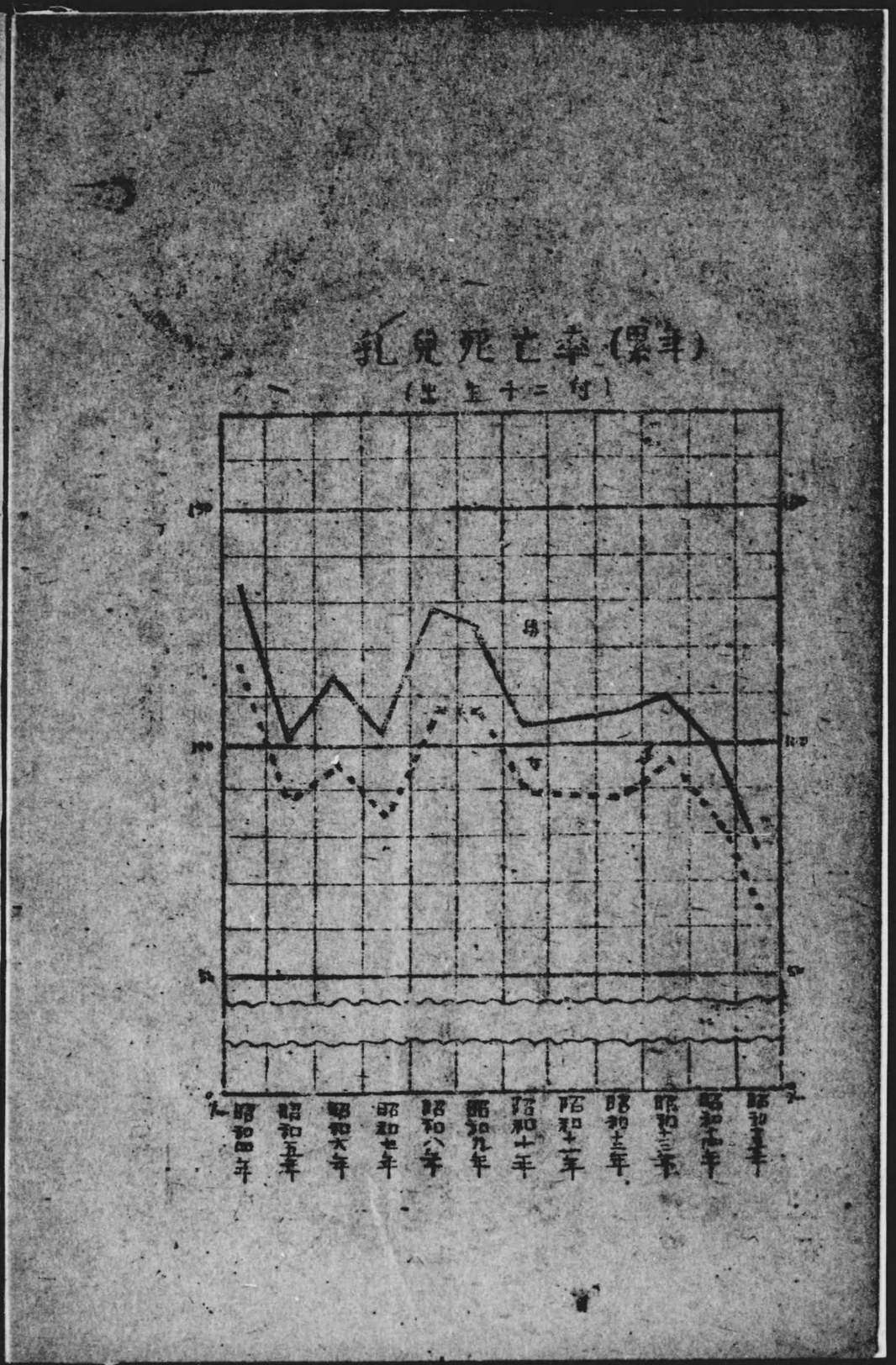
56
446

東京市乳幼児死亡統計目次

第一部　乳児死亡

一、乳児死亡数及乳児死亡率
(イ) 乳児死亡数及乳児死亡率
(ロ) 死亡乳児の体性
(ハ) 区別乳児死亡率
二、乳児死亡の月別
三、死亡乳児の身分
四、死亡乳児の生存期間
(イ) 死亡乳児の生存期間
(ロ) 死亡乳児の身分別生存期間
五、乳児死亡の主要死因
(イ) 乳児死亡の主要死因
(ロ) 主要死因ある乳児の死亡乳児の生存期間

第二部　幼児死亡



一、幼児死亡数及幼児死亡率 (1)
　幼児死亡数及幼児死亡率 (2)
　死亡幼児の体性 (3)
　區別幼児死亡率 (4)
二、死亡幼児の年齢
三、死亡幼児の身分
四、幼児死亡の主要死因
五、本市に於ける乳幼児死亡率の変遷

第三部　統計表

一、乳幼児死亡の區別分布
二、年齢別乳幼児死亡（累年）
三、主要死因別乳幼児死亡（昭和十四年）

東京市乳幼児死亡統計

第一部　乳児死亡

一、乳児死亡数及乳児死亡率
(1) 乳児死亡数及乳児死亡率

都市に於ける乳児（一歳未満）死亡数は一六、五三三人（一日平均四五人）であって、出生百人（一二、八七九人）の一三、八七%に該る。之を出生百人に対する乳児死亡率と云ふが、出生百人の内九人強は満一歳の誕生日迄に死亡してゐる。

年次	乳児死亡数	乳児死亡率
大正十四年	一五、八九九	一三、八七
大正十五年	一六、一一八	一三、九一
昭和元年	一五、八九九	一三、八七
昭和二年	一五、八九九	一三、八七
昭和三年	一五、八九九	一三、八七
昭和四年	一五、八九九	一三、八七
昭和五年	一五、八九九	一三、八七
昭和六年	一五、八九九	一三、八七
昭和七年	一五、八九九	一三、八七
昭和八年	一五、八九九	一三、八七
昭和九年	一五、八九九	一三、八七
昭和十年	一五、八九九	一三、八七
昭和十一年	一五、八九九	一三、八七
昭和十二年	一五、八九九	一三、八七
昭和十三年	一五、八九九	一三、八七
昭和十四年	一五、八九九	一三、八七

(2) 死亡乳児の体性

乳児死亡者を男女に分つと、女三人、男二人であって、男女の割合は女百人に対し男一三、八（男女九人、女六人、三六五人、十四に相当）

(3) 区別乳児死亡率

二、乳児死亡の月別

死亡乳児を月別に見ると一月、二月、三月、四月と十二月とに比較的に多く、他の月は少い。逐月移行の態様を見ると一月[illegible]漸減して八月に最も少くなり、翌九月より漸増して十二月に至る。即ち冬場に多く夏場に少いことが窺はれる。

乳児死亡の月別

月次	乳児死亡数 昭和十三年	乳児死亡数 昭和十四年	一年一日平均乳児死亡を一、〇〇〇とする各月指数 昭和十三年	一年一日平均乳児死亡を一、〇〇〇とする各月指数 昭和十四年
総数	一三、三六一	一二、五〇三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一月	一、九九二	一、六七〇	一、七五六	一、五七三
二月	一、七九〇	一、七三九	一、〇四七	一、三九二
三月	一、三九七	一、〇八九	一、二二二	一、二一四
四月	九五四	一、〇五一	八六九	一、〇二四
五月	八〇一	一、〇一六	七〇六	九五七
六月	七二六	七七二	六六一	七五三
七月	七七九	七一五	六八七	六七二
八月	七八二	六三六	六八九	五九九
九月	七五二	六四二	六六二	六二五
十月	八五八	七〇六	七〇六	六〇五
十一月	一、〇一七	九九一	九一五	九六四
十二月	一、五一三	一、七七四	一、三三三	一、六七一

八

三、身分別乳児死亡率

注、身分別乳児死亡率は[illegible]
%（即ち出生千人の内で嫡出子が九一人、私生子が一〇五人死亡したことになる）。嫡出子に低く、私生子に高いことが窺はれる。之を既往に就いて見るとやはり同様の態様を示してゐる。

身分別乳児死亡率

年次	乳児死亡総数 嫡出子	乳児死亡総数 私生子（棄子を含む）	出生千に付乳児死亡 嫡出子	出生千に付乳児死亡 私生子
昭和八年	一四、六七八	一、一三七	一〇四・三三	一四六・二四
昭和九年	一三、三三三	一、〇八一	一〇一・七三	一七八・三八
昭和十年	一三、八六五	一、〇〇三	九三・一三	一五九・五七
昭和十一年	一三、五三九	八五一	九四・〇七	一四三・七一
昭和十二年	一三、一三六	六二七	九六・六六	一一五・四五
昭和十三年	一二、七五三	五四六	一〇二・五四	一二四・三七
昭和十四年	一一、九八九	四六八	九一・一四	一〇五・八八

四、死亡乳児の生存期間

(1) 死亡乳児の生存期間

死亡乳児の生存期間を見ると一箇月未満の者が最も多く、総乳児死亡者の四一・八%を占め、一箇月以上三箇月未満の者は一〇・八%であって生後三箇月未満で既に全

体の五・六%が死亡してゐる。二箇月以上三箇月未満の者は六・七%（生後三箇月未満の者の合計五九・三%）、三箇月以上六箇月未満の者は一三・六%（生後六箇月未満の者の合計七二・九%）六箇月以上の者は二七・一%を示し生後時日を経過した者程死亡すゝ者の割合が激減してゐる事が窺はれる。尚一箇月未満の者を更に日齢に依つて区分して見ると、其の関係を一層明瞭に裏書することが出来る。即ち出生後五日未満の者は總乳児死亡者の一八・二%を占めるが、五日以上十日未満の者は八・八%、十日以上十五日未満の者は四・六%、十五日以上一箇月未満の者は三・六%と順次其の割合を減じてゐる。之を男女別に見るに男にありては一箇月未満の者一〇・九、廿一〇・六であつて生後短期間中に死亡する割合が甚だ高いことが注目せられる。

乳児死亡者の日齢月齢

總數	男	女
一箇月未満	一二、五三二	七、〇一三
五日以上十日未満	五、二八	二、五九六
十日以上十五日未満	二、二三七	一、三九五
十五日以上一箇月未満	一、〇九九	六四二
一箇月以上二箇月未満	一、一九一	六六七
二箇月以上三箇月未満	一、三四六	七六五
三箇月以上六箇月未満	一、六九八	八四四
六箇月以上一年未満	三、三八七	一、八一八

總數	男	女
一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇
四二・八	四二・八	四〇・九
一八・二	一八・八	一九・一
八・八	八・六	九・一
五・三	五・三	五・四
四・〇	四・〇	四・〇
一〇・八	一〇・九	一〇・六
六・七	六・七	六・八
一三・六	一三・六	一三・五
二七・一	二七・二	二六・九

(四) 死亡乳児の身分別生存期間

死亡乳児の身分別生存期間を見るに、三箇月以上一年未満の者七二・三%（内一箇月未満の者四一・二%）、六箇月以上一年未満の者一三・〇%となつてゐる。両者の身分共略同様の傾向にあるが、私生子は嫡出子に較べて生後短期間に死亡する割合が高い。

身分及生存期間別乳児死亡

乳児死亡	總數	嫡出子	私生子
總數	一一、九八九	一〇、〇一〇	一、九七九
大箇月未満	八、六四四	七、三一一	一、三三三
一箇月未満	四、九三五	四一一二	八二三
一箇月未満	一、一九六	一、〇一八	一七八
二箇月未満	八二〇	七〇二	一一八
三箇月未満	一、六二二	一、三三七	二八五
六箇月未満	三、三一五	二、七一二	六〇三
一年未満			

乳児死亡	總數	嫡出子	私生子
總數	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇
大箇月未満	七二・三	七二・九	六七・四
一箇月未満	四一・二	四一・〇	四一・八
一箇月未満	九・八	一〇・一	八・七
二箇月未満	六・八	七・〇	五・九
三箇月未満	一三・五	一三・九	一二・一
六箇月未満	二七・六	二七・九	二六・一
一年未満			

乳児死亡の主要死因

(1) 乳児死亡の主要死因

死亡乳児の死因中其の主要なるものゝ概況を掲ぐれば次の通りである。

不詳を除く、体質薄弱、栄養障害、先天性弱質、

纖乳児死亡者の二八、九二〇名を占め、更りて肺炎の二五、一〇六、下痢及腸炎の一〇、〇九七、あつて、以上の三種を通算すれば実に六四、三五六名に及ぶ。他種死因に因るものが極めて少数である。

(二)主要死因(中分類)別乳児死亡

死因	総数	乳児死亡				男				女			
		総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの	総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの	総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの
総数		一二五、〇三二	七〇、〇二二	五五、〇一〇	一二五、〇三二	七〇、〇二二	三、七一四	二〇、七二二	一、五四二、八	五五、〇一〇	三、二九四	一、四一八	一、五四二、八
1 先天性弱質		三、七一四	三、二九四	一、四一八	一、五四二、八	二、〇七二	一、七二二	三五二	一、〇七二、八	一、六四二	一、五七二	六六	一、六四二、八
2 肺炎		三、〇四一	一、二五一	一、七九二	三、〇四一	一、七二三	七一二	一、〇一一	一、七二三、八	一、三一八	五三九	七八一	一、三一八、八
3 下痢及腸炎		一、二五一	四五三	七九八	一、二五一、八	七一二	二六二	四五二	七一二、八	五三九	一九一	三四六	五三九、八
4 麻疹		四二六	一四五	二八一	四二六、八	二三一	八一	一四九	二三一、八	一九五	六四	一三二	一九五、八
5 百日咳		四二六	一四五	二八一	四二六、八	二三一	八一	一四九	二三一、八	一九五	六四	一三二	一九五、八
6 其他の幼若乳児固有の疾患		四一八	二五八	一五七	四一八、八	二三八	一四五	九三	二三八、八	一八〇	一一三	六四	一八〇、八
7 ビタミン欠乏症													
8 早産		三九四	三九四		三九四、八	二一二	二一二		二一二、八	一八二	一八二		一八二、八
9 脳膜炎(結核性のものを除く)		二一二	一九一	二一	二一二、八	一二二	一〇九	一三	一二二、八	九〇	八二	八	九〇、八
10 其の他		一、七七五	一、二二二	五五三	一、七七五、八	一、〇二二	七一三	三〇九	一、〇二二、八	七五三	五〇九	二四四	七五三、八

(四)主要死因より見た死亡乳児の生存期間

主要死因に就き乳児の生存期間を見ると、生存期間の最も短いのは「其他の幼若乳児固有の疾患」の「先天性弱質」に因る死亡者で、一箇月未満の中に九五・五%が死亡し、一年未満を及ぶものは僅かに四・二%である。この外概して「先天性弱質」「ビタミン欠乏症」「梅毒」「脳膜炎」に因る死亡者は一年未満の者に多く、「麻疹」及「肺炎」に因る死亡者は六箇月未満の中に九五・五%が死亡し、六箇月未満の者に多く、「早産」に因る死亡者に於ても一箇月未満の中に九三・二%が死亡し、一年未満に及ぶものは僅かに四・二%である。この外概して「先天性弱質」「ビタミン欠乏症」「梅毒」「脳膜炎」に因る死亡者は一年未満の者に多い。

(二)主要死因(中分類)及生存期間別乳児死亡

死因	総数	百分比											
		総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの	総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの	総数	生後一箇月未満	一箇月以上一年未満	一年未満に及ぶもの
総数		一〇〇・〇	五六・〇	四四・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	五三・九	四六・一	一〇〇・〇	一〇〇・〇	五九・九	四〇・一	一〇〇・〇
1 先天性弱質		二九・五九	二六・二九	三・三七	二九・五九	二八・九二	二四・六八	四・二四	二八・九二	三〇・〇四	二八・八四	一・二〇	三〇・〇四
2 肺炎		二四・三七	一〇・〇四	一四・三三	二四・三七	一〇・三四	一〇・二一	一四・五三	二四・三七	二三・九五	九・九二	一三・九三	二三・九五
3 下痢及腸炎		一〇・〇九	三・六二	六・四七	一〇・〇九	三・七二	一・〇四	二・六八	一〇・〇九	一三・四七	三・二六	一〇・二一	一三・四七
4 麻疹		三・四一	一・一六	二・二五	三・四一	一・六二	〇・四七	一・一五	三・四一	五・〇一	一・六五	三・三六	五・〇一
5 百日咳		三・四一	一・一六	二・二五	三・四一	一・六二	〇・四七	一・一五	三・四一	五・〇一	一・六五	三・三六	五・〇一
6 其他の幼若乳児固有の疾患		三・三四	二・〇六	一・二八	三・三四	一・七二	一・二九	〇・四三	一・七二	三・二九	二・〇九	一・一九	三・二九
7 ビタミン欠乏症													
8 早産		三・一五	三・一五		三・一五	三・〇五	三・〇五		三・〇五	三・二五	三・二五		三・二五
9 脳膜炎(結核性のものを除く)		一・七〇	一・五三	〇・一七	一・七〇	一・七二	一・五九	〇・一三	一・七二	一・六八	一・四八	〇・一六	一・六八
10 其の他		一四・二〇	九・七八	四・四二	一四・二〇	一四・六五	一〇・二二	四・四三	一四・六五	一三・七五	九・二二	四・五三	一三・七五

第二部　幼児死亡

一、幼児死亡数及幼児死亡率

(1) 幼児死亡数及幼児死亡率

昭和十四年本市に於ける幼児（五歳未満）死亡数は二四、五三九人（一日平均六七人）であって、総死亡に対する五歳未満者の割合を幼児死亡率といふが、総死亡百人に付幼児死亡者の割合は三七、二一に該る。

幼児死亡

年次	死亡總数	幼児死亡数	死亡總数百中幼児
昭和八年	八二、三四九	二七、八七二	三三、八五
昭和九年	七九、八二六	二四、八七三	三一、二六
昭和十年	七七、〇四五	二五、〇四五	三二、四八
昭和十一年	八〇、八三六	二八、八七二	三五、〇四
昭和十二年	八三、七八四	二四、六〇六	二九、三七
昭和十三年	八八、八七九	二三、三四七	二六、二七
昭和十四年	約、一六九	二四、五三九	二七、二一

(2) 死亡幼児の体性

幼児死亡者を男女に分つと男一三、八三人、女二、三五六人であって、男は女より一八六七人多く、女百に付男の割合は一一六、一に該る。

死亡幼児の体性

次に男女別に幼児死亡率を見ると、男女ともに死亡率の漸減傾向にあり、昭和八年と昭和十四年とを比べると男女共に可成り減少してゐることが窺はれる。

年次	幼児死亡数 男	幼児死亡数 女	幼児死亡率（幼児百年幼児死亡率） 男	幼児死亡率（幼児百年幼児死亡率） 女
昭和八年	一五、〇五六	一三、八六七	三三、九〇	三二、七九
昭和九年	一三、二八三	一一、五四〇	三一、一四	二七、〇五
昭和十年	一三、三三五	一一、七一七	三一、七五	二七、六二
昭和十一年	一三、四七一	一二、〇五四	三一、四五	二八、〇三
昭和十二年	一二、六三九	一一、三六九	二九、六六	二六、二四
昭和十三年	一二、八八三	一一、四六四	二九、六六	二六、二四
昭和十四年	一二、五三九	一一、三七〇	二七、一一	二六、一〇

一、区別幼児死亡率

(1) 総死亡百中幼児死亡者の割合を区別に見ると、

三五、二七 之に亜ぎ、最低は麹町の一三、八九であって市域の一七、二八、麻布の一七、八四の順である。

今之を階級別に類別すれば次の通りである。

麹町、赤坂、麻布、日本橋、
芝、本郷、四谷、神田、中込、浅草、吉田、小石川、下谷、京橋、大久
中野、牧橋、目黒、豊島、品川、滝野川、淀橋、蒲田
本所、荏原、王子、深川、葛飾、足立、江戸川
向島、城東

区別幼児数と

幼児死亡

区名	昭和十四年	昭和十五年
全市	二三、五三四	二三、五三九
旧市部	一九、九一九	一九、二一九
猪町	一、九七	八一
神田	三、四六	三、一五
日本橋	一、七七	一、一六
京橋	三、九七	四、一七
芝	五、二二	四、七八
麻布	三、一六	一、七七
赤坂	一、一九	一、一二
四谷	一、九一一	二、〇六
牛込	三、六〇	三、九二
小石川	四、二〇	五、〇三
本郷	三、七六	三、九一
下谷	五、一五	五、三五
浅草	五、七六	五、七六
本所	一、一六〇	一、〇九八
深川	一、三三六	一、一七四
品川	一、九四三	一、九九二
目黒	六、八八	六、八九七
荏原	五、三九	五、三五
大森	七、五〇	七、三三
蒲田	七、一六六	八、四九
世田谷	七、六五	七、三三
碑衾	六、五七	七、一〇
渋谷	五、一四	五、一一
中野	五、三三	五、三一
杉並	六、七七	六、四四
豊島	一、九六二	一、九六九
滝野川	四、一六	五、一一
王子	一、七八八	一、七五二
板橋	八、五二四	九、四八
練馬	一、一一〇	一、一一三
足立	九、九五	一、〇八八
葛飾	六、五五	七、四九四
江戸川	七、三二	七、三二

幼児死亡

区名	昭和十四年	昭和十五年
全市	二三、五三四	二三、五三九
旧市部	一九、九一九	一九、二一九
猪町	一、九七	八一
神田	三、四六	三、一五
日本橋	一、七七	一、一六
京橋	三、九七	四、一七
芝	五、二二	四、七八
麻布	三、一六	一、七七
赤坂	一、一九	一、一二
四谷	一、九一一	二、〇六
牛込	三、六〇	三、九二
小石川	四、二〇	五、〇三
本郷	三、七六	三、九一
下谷	五、一五	五、三五
浅草	五、七六	五、七六
本所	一、一六〇	一、〇九八
深川	一、三三六	一、一七四
品川	一、九四三	一、九九二
目黒	六、八八	六、八九七
荏原	五、三九	五、三五
大森	七、五〇	七、三三
蒲田	七、一六六	八、四九
世田谷	七、六五	七、三三
碑衾	六、五七	七、一〇
渋谷	五、一四	五、一一
中野	五、三三	五、三一
杉並	六、七七	六、四四
豊島	一、九六二	一、九六九
滝野川	四、一六	五、一一
王子	一、七八八	一、七五二
板橋	八、五二四	九、四八
練馬	一、一一〇	一、一一三
足立	九、九五	一、〇八八
葛飾	六、五五	七、四九四
江戸川	七、三二	七、三二

死亡幼児の年齢

死亡幼児の年齢を見ると、一歳未満の者最も多く、幼児死亡数の五〇・九%を占め、更に一歳未満の者二歳未満の者一〇・一%、三歳未満の者七・二%の順で生後時日の経過するに従い死亡数の減少することが窺はれる。之を男女別に見ると男一歳未満者は過半数を占め、女も稍これに近く、年齢の上昇するに伴い死亡数の減少するは同様である。更に男女の割合を見るに、乳児に於て男超過最も高く、一〇〇に付男一二七・三に該り、三歳未満者之を生ずること一〇〇・五となり男超過の割合は低下を示して居る。

年齢別 幼児死亡

年齢	幼児死亡 男	女	総数	百分比 男	女
総数	一三、八三	一一、三五六	二五、一八九	一〇〇・〇	一〇〇・〇
〇	七、〇一三	五、五〇三	一二、五一六	五一・一	四八・四
一	二、五三九	二、三九九	四、九三八	一九・三	二一・一
二	一、四七六	一、三九八	二、八五四	一〇・七	一二・三
三	一、二八四	一、一〇二	二、三八六	九・二	九・七
四	八八一	八七七	一、七五八	六・四	七・七

三、死亡幼児の身分

死亡幼児を身分別に見ると嫡出子二三、七五五、私生子(庶子を含む)六六三であつて、嫡出子は三・七%の少きを示し、該出生子の割合が指低くなつて居る。乳児死亡の場合(嫡出子五、八九六、私生子三、七四六)に較べて私生子の割合が指低くなつて居る。

身分別幼児死亡

年次	幼児死亡		百分比	
	嫡出子	私生子	嫡出子	私生子
昭和八年	二六、一七四	一、六〇六	九三・九〇	五・七六
昭和九年	二三、三五四	一、三一八	九三・四九	五・三〇
昭和十年	二三、三六一	一、三八二	九三・〇八	五・五二
昭和十一年	二一、五一二	一、〇九五	九四・〇五	四・七九
昭和十二年	二三、六二三	八五六	九六・〇一	三・四八
昭和十三年	二二、五二七	七二五	九六・四九	三・一一
昭和十四年	二三、七五五	六六三	九六・八一	二・七〇
計 男	一三、七四六	三七一	九六・六九	二・八一
計 女	一一、〇〇九	二九二	九六・九四	二・五七
女百ニ付男	一二五・八	一二七・一		

四、幼児死亡の主要死因

幼児死亡を其の主要死因に依って見ると「肺炎」に因る死亡が最高にして、総幼児死亡の二三・五三％を占め、之に亜いで「先天性弱質」の一四・七三％、「赤痢及疫痢」の一三・二二％、「下痢及腸炎」の八・一八％の順位にして、以上四死因に依り総幼児死亡の過半数（五九・五四％）に及んでゐる。更に男女に就いて見ると、「赤痢及疫痢」「百日咳」「肺炎」「麻疹」「其他ノ結核」及「脳膜炎」中に於ては[illegible]死因に於ては女死亡者が男死亡者に僅かながら多い。

主要死因（中分類）別幼児死亡

死因	幼児死亡			[illegible]		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	二四、五三九	一三、一八三	一一、三五六	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
1 肺炎	五、七七二	三、〇三六	二、七三六	二三・五三	二三・〇三	二四・〇九
2 先天性弱質	三、六一四	二、〇七二	一、五四二	一四・七三	一五・七二	一三・五八
3 赤痢及疫痢	三、二一六	一、五九二	一、六二四	一三・一一	一二・〇八	一四・三〇
4 下痢及腸炎	二、〇〇七	一、一一三	八九四	八・一八	八・四四	七・八七
5 麻疹	一、三九〇	七一一	六七九	五・六六	五・三九	五・九八
6 百日咳	九六七	四〇四	五六三	三・九四	三・〇七	四・九六
7 脳膜炎（結核性ヲ除ク）	九六一	五一六	四四五	三・九二	三・九一	三・九二
8 其他ノ結核	七一二	三六四	三四八	二・九〇	二・七六	三・〇七
9 ジフテリア	五三一	三〇六	二二五	二・一六	二・三二	一・九八
10 ビタミン欠乏症	四二九	二六四	一六五	一・七五	二・〇〇	一・四五
11 其ノ他	四、九四〇	二、八〇五	二、一三五	二〇・一三	二一・二八	一八・八〇

五、本市に於ける乳幼児死亡率の変遷

本市に於ける乳幼児死亡率を最近十年間に就いて見るに、乳児死亡率にあっては、昭和六年の一〇・五六％を除けば七年迄は九・〇〇％台であったが、翌八年九年共に一一・〇〇％台に上昇した。然るに十年以降十三年の一〇・〇〇％台を除けば各年共九・〇〇％台を持続してゐる。幼児死亡率にありては十年迄は三・〇〇％台を上下し、翌十一年以降十二年の二・九〇％台を除けば二・七〇％を上下してゐる。

概して本市に於ける乳児死亡率は昭和六年、八年、九年及十三年は水準より稍高いが、平均九・〇〇％台即ち出生百人の中一年に九人が死亡してゐる。次に幼児死亡率は多少

高依に相違があるが漸減の傾向が窺はれる。

東京市に於ける乳幼児死亡率の変遷

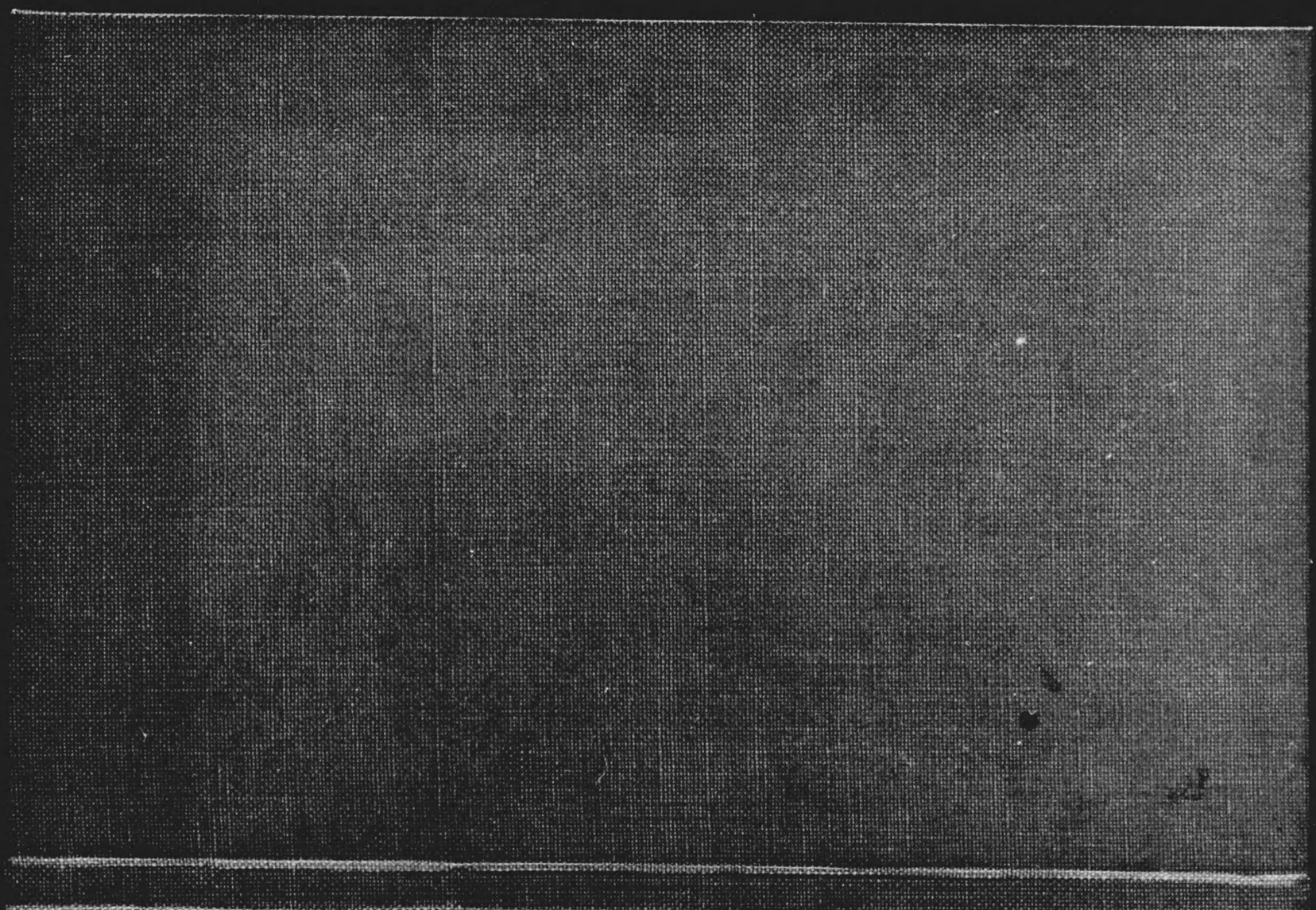
年次	総死亡	乳児死亡	幼児死亡	乳児死亡率	乳幼児死亡率
昭和五年	七〇、六八八	一三、五七一	一	一	一
昭和六年	七六、一一一	一四、七一九	九、四一	一九、五六	一
昭和七年	七一、〇九六	一三、〇七四	一〇、五六	一九、三四	一
昭和八年	八二、三四九	一五、八二九	二七、八七三	二一、七四	三三、八五
昭和九年	七九、八二六	一四、五一五	三四、八七三	二一、五八	三二、一六
昭和十年	七八、〇七四	一四、一三四	三五、〇四五	九、七二	三二、〇八
昭和十一年	八〇、八三七	一三、五六二	三二、八七三	九、七四	三八、三〇
昭和十二年	八三、七八四	一三、八二一	三四、六〇六	二、七八	三九、三七
昭和十三年	八八、八七九	一三、三六〇	三四、五三七	一〇、三四	三六、二七
昭和十四年	九〇、一六九	一三、五〇三	三四、五三九	九、二〇	三七、二一

乳幼児死亡、區別分布（昭和十四年）

區	死亡總數	總數	乳児死亡	總數	乳児死亡率	幼児死亡	總數	乳幼児死亡率
麻布	九〇一	二四、五九	一〇、五〇三	四九三八	三八五	一四、五〇三	四九三八	三八五
赤坂	七一二	一七、二九	七、一二九	三四八六	三八五	七、一二九	三四八六	三八五
四谷	一、一〇八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
牛込	一、二一二	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
小石川	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
本郷	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
下谷	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
浅草	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
本所	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五
深川	一、一八八	二四、八八	一〇、一二三	四九三八	三八五	一〇、一二三	四九三八	三八五

一、乳幼兒死亡ノ區別分布（昭和十四年）

區名	死亡總數	幼兒死亡總數	乳兒死亡總數	年齡 一	年齡 二	年齡 三	年齡 四	總死亡中幼兒死亡	總死亡中乳兒死亡	幼兒死亡中乳兒死亡	乳兒死亡
總數	九〇、一六九	二四、五三九	一二、五〇三	四、九三八	二、八四四	二、四八六	一、七五八	二七・二一	一三・八二	五〇・九五	九・二〇
旧市部	二九、二一二	七、二一九	三、七三一	一、四五〇	八一七	七一〇	五一二	二四・七一	一二・七七	五一・六八	九・二七
麹町	五八三	八一	三六	一五	一三	一〇	七	一三・八九	六・一七	四四・四四	六・八六
神田	一、四五六	三一五	一五一	七一	三三	三七	三三	二一・六三	[illegible]	四七・九四	八・〇四
日本橋	一、〇六八	二一〇	一三五	三九	一一	一六	一九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八・四二
京橋	一、七三〇	四一六	二二七	七七	五四	四〇	一八	[illegible]	[illegible]	五四・二七	八・二七
芝	二、三八三	四七八	二六二	八五	五五	四三	三三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六・五四
麻布	一、一〇四	一九七	九五	三四	二四	二二	二二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六・九七
赤坂	六五四	一一三	六〇	二二	一五	八	八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九・九一
四谷	九五四	二〇六	一一五	三九	二〇	一四	一四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八・五九
牛込	一、七八三	三九三	二三六	七六	三九	三二	二六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九・六四
小石川	二、一三五	五〇三	二六六	八五	六八	六〇	四四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	七・五九
本郷	一、八二二	三九一	一八四	七九	四八	四二	三八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六・六六
下谷	二、三〇四	五五三	二八一	九八	一七	六八	二九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九・四二
浅草	四、〇二一	一、〇九八	五六一	二三四	一二〇	一二八	七五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一〇・九九
本所	三、八九五	一、一七四	六二五	二五三	一二三	九八	七五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一一・〇九
深川	三、四二〇	一、〇九二	五二七	二五三	一三三	一〇四	六九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一一・二五
新市部	六〇、九五七	一七、三二〇	八、七七二	三、四八八	二、〇二七	一、七二六	一、二四七	二八・四一	一四・三九	五〇・六五	九・六五
品川	二、九八八	七八五	四一六	一七〇	九〇	七一	五八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
目黒	二、三九九	六二二	三〇二	一三八	六六	七四	四三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荏原	二、六〇五	八二〇	三七四	一九六	一二六	八〇	四六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大森	三、一〇六	七六三	四〇八	一五三	七一	七四	五七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蒲田	二、八八六	八四九	四六三	一六五	八七	八八	四四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
世田谷	三、一七七	七三三	三三五	一五二	九六	八二	六八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
渋谷	三、一五二	七二〇	三六五	一五九	八七	六九	六〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
淀橋	三、二四二	五〇〇	二四〇	八六	七三	五五	四六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中野	二、五六五	六四六	三四六	一一二	八〇	六一	四七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
杉並	二、六七五	五四八	二七三	一二四	六一	四九	四一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豊島	四、〇八五	一、〇六九	五一二	一九〇	一四七	一三九	九一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滝野川	一、九四四	五一一	二五三	一〇三	六二	五七	三六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荒川	五、五九四	一、七五二	八七七	三五三	二〇四	一八六	一三三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
王子	二、九八七	九四八	四九三	一七九	九六	九四	八六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
板橋	二、九四六	一、〇〇八	五三九	一八九	一三〇	九〇	七〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
足立	三、五九九	一、三二八	五九五	二六〇	一五六	一三六	八一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
向島	三、一八四	一、一二三	五九六	二五一	一一五	一〇一	六〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
城東	三、〇一二	一、〇八八	五八七	二三七	一一五	九五	五四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
葛飾	二、一二八	六九四	三三〇	一三四	八三	七六	一二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江戸川	二、六八一	九三二	四六八	一八五	一一二	一二一	五六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

三　芝罘及烟台(牟平含)刺牝幼児死亡（昭和十四年）

年齢	死亡総数	男				女				不明				死産総数	死産率	出生総数	死産率
		総数	乳児	1	2	総数	乳児	1	2	総数	乳児	1	2				
総数	九〇一人	四五五人	一三五人	四七五人	五八四人	四五六人	一六五人	一六二人	四〇九人	一三一人	七〇〇人	一二五人	四七六人	一〇〇〇〇	四五·四五	一〇〇〇〇	四五·四五
年齢	実	一〇四一	四七七二	一三四〇	一八八四	四四五	四〇九	一八二	四〇四六	一七〇四	四七四六	一四八	四七六六	一四八	四五·四五	一四八	四五·四五
元旦生誕数	四六一四	四六一四	四六一四	—	—	—	—	四〇七四	四〇七四	一八四四	一八四四	一四六四	四六·七一	四六·七一	一四·七一	四六·七一	一四·七一
死産数	四八七七	四三一六	四六	四三七	四九四	一一〇四	八〇四	一一七四	六七	四七四	六四	一六四	八〇四	一四·一〇	八	一四·一〇	八
死産率(出生千対)	四〇〇七	四〇〇七	一六四一	四七六	四六六	—	—	—	一一四一	六七四	四一一	六七四	八四四	八·八八	四七·六六	一〇·〇一	四七·六六
死亡	一一四一	一三七〇	四四四	六七四	一七八	九四	四九	七八	四六六	一九一	四四一	六七四	四四四	四·六四	四·六四	四·六四	四·六四
死亡率(千対)	一七六四	九六一	四四六	一四一	一四四	一四一	七八	四四四	一九一	四四四	一六四	四四四	一六四	四·八四	四·九四	四·八四	四·九四
死亡率(千対)	七四六	九六七	四四四	一一四	一一四	九四	四四	四四四	四四四	一一四	四四四	四四八	一四四	四·六四	四·六四	四·六四	四·六四
死亡率(千対)	一四四四	七一一	四七	一九四	一四四	一四四	四四	四六四	四四四	四四	四七	四七	四九	〇·四四	〇·四四	〇·四四	〇·四四